

「みんなで考える家庭ごみ減量会議」 の提言を受けた行政の取組み

令和4年8月現在
琴浦町町民生活課 SDGs推進室

はじめに



令和3年度に行った「みんなで考える家庭ごみ減量会議」で作成された「提言書」。これを受けて行政として行っていることをご紹介します。

小さく・されど確実に

提言書では、「小さく始める」ことをキーワードに、実行段階へ動いていくこととしています。

行政も、小さくても確実に、行動へ移していきます。

提言 1（目標）・提言 2（意識）

①家庭ごみ減量（月毎）の見える化

提言 3（基本）

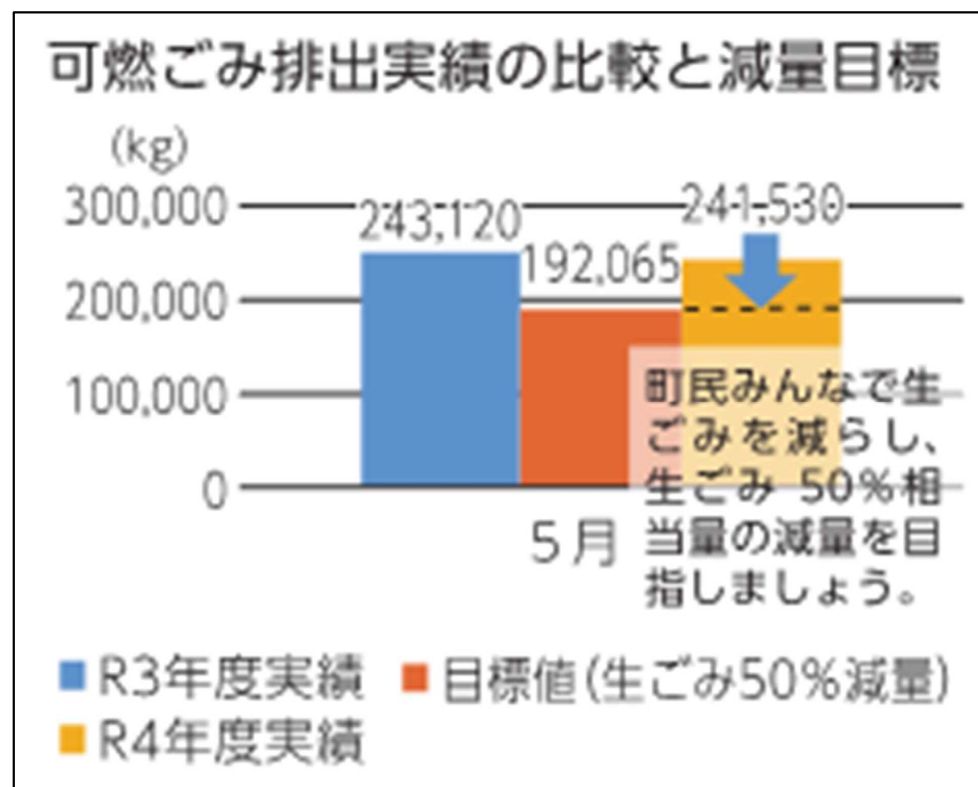
②軟質プラスチック分別の広報・啓発

提言 3（基本）

③生ごみ処理方法の検証に関する補助金

①家庭ごみ減量（月毎）の見える化

- 広報こうらで生ごみ50%削減を目標に、月毎の家庭から出る可燃ごみ量を見える化し、掲載しています。
- まだまだ家庭から出るごみについて大きな減量に至っていないのが現状です。



②軟質プラスチック分別の広報・啓発

- 現在試験的に行っている軟質プラスチックの回収についての啓発を町内3団体に行い、周知を図りました。



③生ごみ処理方法の検証に関する補助金

- 現在、生ごみ処理に関する補助金について、補正予算を6月議会にて計上しています。
- 生ごみ処理方法の検証に関するモニターを募集し、生ごみ処理機やコンポスト、水切りなどの処理を行い、記録・報告をしていただく方に対して、必要となる資機材の購入費を補助したいと考えています。